

(学校番号217) 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上大久保中学校】

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(各学年国語科の授業における漢字小テストで正答率が85%以上にする。) ・当該学年で習得すべき式の計算ができる。(SMD(Super Math Day)テストで正答率が75%以上にする。)	⇒ 各学年の国語科の授業において、月に2回程度漢字の小テストを実施し、それに向けた漢字練習に取り組ませる。 年3回、全校一斉での数学における計算の確認テスト(SMD)を実施し、それに向けた課題に取り組ませる。 上記の小テストに向けてしっかりと学習に取り組めるように、実施日を調整する。
思考・判断・表現	・R5年度さいたま市学習状況調査の国語・数学の「思考力・判断力・表現力」において、R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より3pt向上させる。	⇒ ・研究課題に合わせ、全教員が授業を公開し、教科を越えて互いに授業を見合って、教科横断的な視点を取り入れた授業を展開する。 ・各教科で身につけた知識を応用できるような課題を授業で設定し、教員側が評価の観点を示す。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査において、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」「学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。」「家や図書館で、普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)」の項目について、令和4年度よりも学習・読書に取り組む時間を増加させるとともに、「全くしない」という回答の数を減少させる。	⇒ ・各教科で小テストなどの目標に取り組めるような課題を設定し、取り組ませるようにする。 ・学習する意味を授業で伝え、自ら進んで学習に生徒が取り組みたくなるような学習課題や発問を工夫する。

② 全国学力・学習状況調査結果・分析		
全国学力・学習状況調査結果		国語： 数学： 英語：
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能		⇒
思考・判断・表現		⇒
主体的に学習に取り組む態度		⇒

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)